

令和３年度第１回坂東市地域公共交通会議 書面協議結果

1 協議結果

委員数 ２１名（会長を除く）

回答数 ２１名

協議事項	承認する	承認しない
（１）デマンドタクシー市外便実証運行の中間評価と令和４年度の運行について	２１名	０名
（２）直行坂東号の中間評価及び令和４年度の運行について	２１名	０名
（３）公共交通利用促進のためのパートナーシップ・ガイドライン(案)について	２１名	０名

回答をいただいた委員２１名のうち、過半数を上回る委員の承認を得られたことから、坂東市地域公共交通会議条例第４条第３項に基づき、全協議事項について原案のとおり可決されました。

2 ご意見等について

各協議事項に対していただいたご意見と事務局からの回答は以下のとおりです。（ご意見等については、一部表現を変更させていただいております。）

■協議事項（１）

デマンドタクシー市外便実証運行の中間評価と令和４年度の運行について

委員からのご意見等
・デマンドタクシーの周知の徹底と登録の推進はこれから一層必要である。 ・常総市よりも、守谷市の病院に行く方も多いのが実態である。守谷市との連携は考えていけないのだろうか。（総合守谷第一病院、守谷慶友病院等）
事務局からの回答
今後、デマンドタクシー利用登録者へのアンケート調査を実施し、利用者の需要に応じた利便性の向上を検討するとともに、市民への周知も強化していきたいと存じます。 守谷市内の病院への乗り入れについては、関係する交通事業者等の承諾が必要になることや新たな車両の確保等が必要になることから、難しいのが現状でございます。まずは、上記のとおり利便性の向上や周知の強化を行い、潜在的な利用者を掘り起こしていきたいと考えております。

■ 協議事項（２）

直行坂東号の中間評価及び令和４年度の運行について

委員からのご意見等
・利用者が少ない状況であるが、止めるのではなく、思いきった方法を考えて実行してもらいたい。 ・維持していくことは大変であるが、逆にコロナ禍で人と接触したくない人にはいいと思う。 ・境町から東京駅行きの高速バスが出来たことにより、目標値（１便あたり平均利用者数３人以上）の達成は危うい。 ・直行坂東号を含め守谷駅行きのバスがあるのを知らない人がまだ多い。まだ周知が甘いのかもしれない。
事務局からの回答
直行坂東号については、広域バス路線として今後も維持していきたいと考えており、今回いただいたご意見も参考にしながら、改善策を検討していきたいと存じます。 周知についても、新型コロナウイルスの状況も勘案しながら、市の SNS（Facebook, LINE）等でも発信していきたいと考えております。

■ 協議事項（３）

公共交通利用促進のためのパートナーシップ・ガイドライン(案)について

委員からのご意見等
・公共交通事業者による取組のなかで、運賃の割引等が発生する場合は、道路運送法上の手続きが必要となることがあるので、実施前にご相談いただきたい。
ご意見等に対する事務局からの回答
運賃の割引等が発生する場合は、実施前にご相談させていただきます。